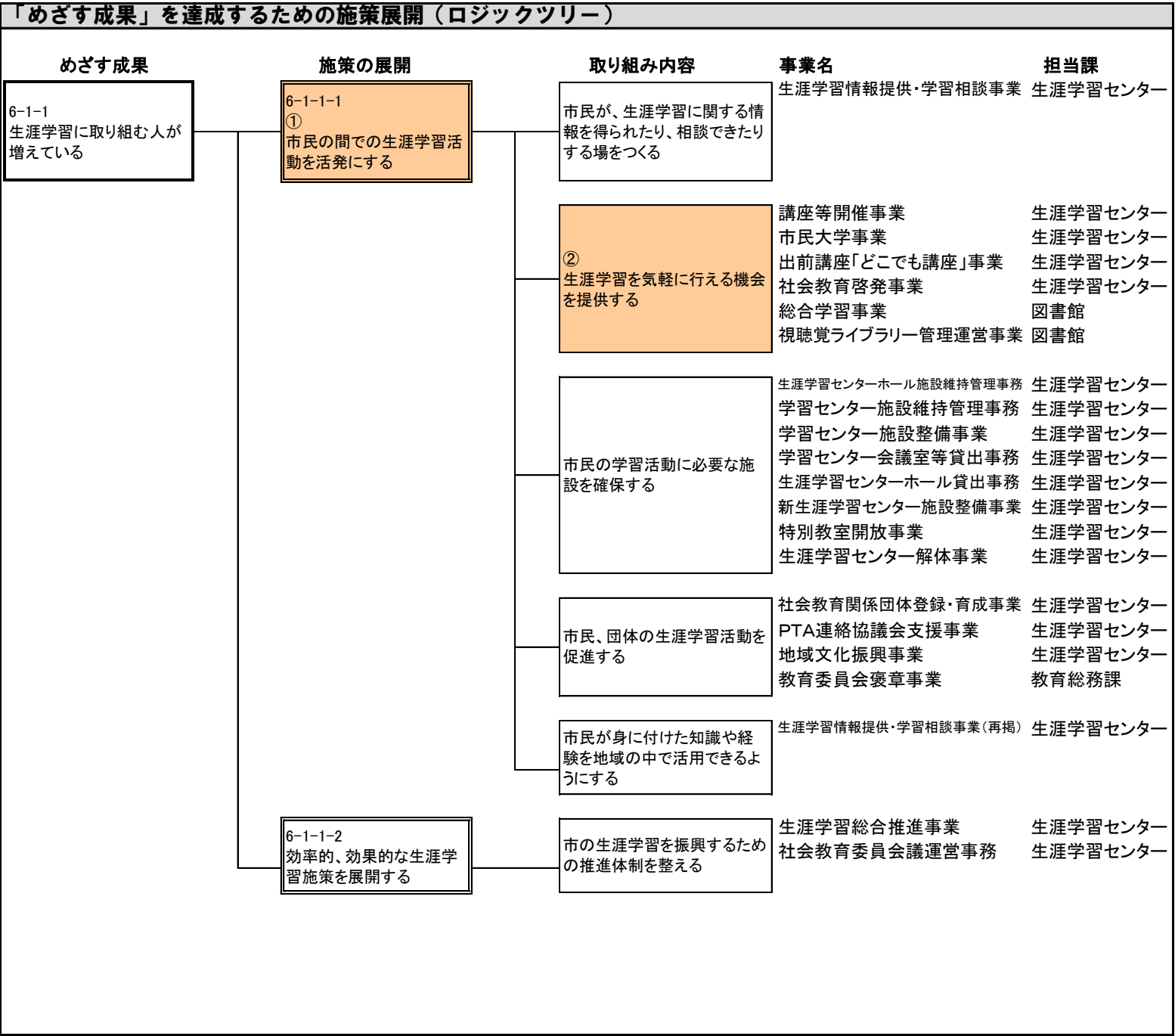


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
6－1－1 生涯学習に取り組む人が増えている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	生涯学習に取り組む人が増えている
		様々な学習機会が提供されることにより、生涯学習に取り組む人が増えています。



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 市民一人あたりの学習センター年間利用回数	4.08回	4.23回	3.85回	3.79回	4.30回	4.58回
② 団体企画提案の地域学習交流事業・市共催事業数				105件	88件	123件	133件

所 管 部	文化スポーツ部	
平成26年度の取り組み内容	【市民の間での生涯学習活動を活発にする】 - 市民のいつでも学べる機会を充実するため、生涯学習推進計画に基づき、市民のニーズに対応した講座等や地域学習交流事業の開催を行ったほか、より身近な場で学習活動ができるよう、小中学校9校で特別教室開放を実施しました。 - 体験学習の場を提供するため、小学生対象の施設見学や中学生の職場体験等を受け入れ、475人が参加しました。 - 教職員の異業種体験研修4人、図書館司書資格取得のための実習生2人を受け入れました。 - 地域の子ども向け映画会を開催する方などを対象に、16ミリ映写機の操作方法を学ぶ講習会を開催し、9人が参加しました。 【効率的、効果的な生涯学習施策を展開する】 - 社会教育委員会議を運営し、社会教育に係る研修会や研究会に参加しました。	
構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	- 建物や電気設備の保全計画に基づき改修工事などを行っていますが、各学習センターとも経年劣化がみられるため、今後も適切な対応が必要となります。 - 市が行う生涯学習事業（各世代対応等）や社会教育事業（現代的課題等）等について、市民の学習ニーズに応えながら実施するとともに、事業のさらなる充実を図り、学習センターを利用する人数や活動団体数、構成員数を増やしていく必要があります。また、市民の持つ知識等を地域に還元する地域学習交流事業を支援することで、生涯学習に取り組む人が増え、学習意欲の促進につながるものと捉えています。 - 施設見学や各種実習の希望者をできる限り多く受け入れ、学習の場を提供する必要があります。 - より多くの利用者の参加機会を増やすため、情報提供に努めるとともに、他の教育機関との連携を進めていく必要があります。 - 視聴覚ライブラリーについて、利用者の減少や視聴覚機材の老朽化・デジタル映像技術の普及、さらに文化創造拠点への移転に伴い、今後のあり方を検討する必要があります。	
今後の展開方針	注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	新生涯学習センター開設に向けた事業を実施します。	(該当する事務事業) 新生涯学習センター施設整備事業
既存事業の拡充	桜丘学習センターのリニューアル工事を行います。	(該当する事務事業) 学習センター施設整備事業
事業の廃止・縮減	- 生涯学習センター移転に伴い、事業を縮減します。 - 図書館の移転に併せ、視聴覚ライブラリーの事業の廃止を検討します。	(該当する事務事業) - 生涯学習センター解体事業 - 視聴覚ライブラリー管理運営事業
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)